

コスモス
Cosmos bipinnatus
(キク科)

「秋桜」といわれるように日本の秋を代表する花。品種改良と栽培技術の向上で一年中流通しているが、やはり秋のイメージが強く、圧倒的に9～10月の出荷が多い。‘ピコティ’、‘ベルサイユ’などの品種があるが、一般的にはコスモスの名称で流通。花色は白、ピンク、赤および白地に赤のしぼりなどの混色である。水あげは良いが、萎れやすい。チョコレートコスモス(*C. atrosanguineus*)は宿根草で種が異なる。

1) 品質評価基準

項 目	判 定 基 準	備 考
頂花序の老化	A: 花弁の変色がない B: 花弁の先端がわずかに変色 C: 花弁の先端が変色、萎凋 D: 花弁が生気を失い、先端から1/2以上が変色し、壊死する	
ベントネック: 花首の萎れ	A: 花首の曲がり度が90° 以下 B: 花首の曲がり度が90° 以上 C: 花序が下を向く D: 花序が下を向き、花弁が萎凋する	
葉の黄変	A: すべての葉が緑色で、黄変がない B: 下葉がやや黄変し、葉先が褐変する C: 1/2程度の葉が褐変する D: ほとんどの葉が褐変する	
その他		

2) 留意点

- ・供試切り花を入手後は水道水で水あげをした後、後処理剤に移し、頂花序の調査を開始する。
- ・葉は萎れやすいので、下葉を除去する。
- ・後処理剤を使用すると、花が大きく咲き、葉が黄変しにくい。つぼみも開花するが、花は小さく、貧弱である。

3) 開花



4) チェック事項

頂花序の老化



花弁先端がわずかに変色



花弁先端が変色, 萎凋



変色, 壊死

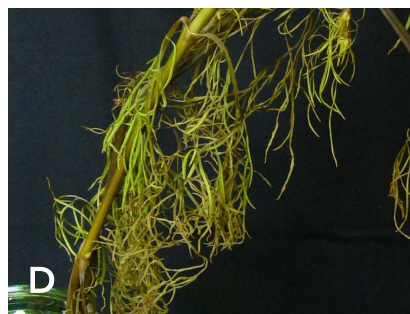
葉の黄変



やや黄変し, 葉先が褐変



1/2程度の葉が褐変



ほとんどの葉が褐変

